

かがやく

男女共同参画

一行詩優秀作決まる!!

田所一男さん 元公務員 76歳
国際交流が進み、私たちの生活環境が日々変化、向上しつつある中で、相手を尊重し、思いやりのある心を育て、支えあい、社会生活を営むことが

我が家では夫婦で協力し合い子育てをしていますが、男女共同参画の問題は直ぐに状況が変わるものではありません。行政も少しづつでも歩みを止めずに、いろいろな施策を進めたい欲しいと思います。

(記者の一言)男児三人の母。子育ての真っ最中であるが故に共同参画の意義を大いに感じているらしくやるようです。身近な、できるところから行動の輪が広がるといいですね。

男女共同参画社会とは、男性と女性が対等なパートナーとして職場、学校、地域、家庭などと共に参画し、喜びも責任も分かれ合い、一人ひとりの個性と能力を活かしながら、多様な生き方が選択できる社会です。

男女共同参画強調月間の事業として一行詩の募集を行い、男女共同参画フェスタの会場で表彰式を行いました。最優秀賞、優秀賞に輝いた皆さんにお話を伺いました。

最優秀賞
優秀賞
男女共同参画で 活かそう あなたの知識と思いやり
男も女も知っている、自分らしく振舞えることが生きてる証だつてこと…

岡本絵里さん

女らしさ男らしさはひとまずおいて、自分らしさが一番大事



岡本絵里さん 主婦 34歳
男女共同参画を推進する施策が自分の考えに近く、共感したため応募しました。

岡本絵里さん 主婦 34歳
男女共同参画を推進する施策が自分の考えに近く、共感したため応募しました。

男女共同参画の輪が広がりを見せておりますが、各種行事等を通してより多くの方々の相互理解を深め意識の共有化を図っていきたいと思います。

男女共同参画の輪が広がりを見せておりますが、各種行事等を通してより多くの方々の相互理解を深め意識の共有化を図っていきたいと思います。

あなたにできる「と」あなたにしかできない」といっぽいあります。

男が先女が後? 一緒に行こうかできないよ、あなたの隣の横山恭子 男だから女だからと言わないで! 社会も地球もお互い支え合い生きていく ります。山崎良子 大切なパートナー 小沼祥子 理想は理想 現実は現実 僕はその中間にいる。それが自分

高橋亮佑 「男女共同参画に関する一行詩」の募集について平成17年度も引き続き実施予定です。詳しくは市報です。

福田綾子さん 中学生 15歳
女性・国際 課主催の国際交流サロンで得た諸外国の皆さんとのふれあい、また市の海外派遣事業での経験、将来を

第2号
2005.3.10発行
発行者
ひたちなか市
企画部女性・国際課
ひたちなか市東石川2-10-1
029-273-0111(内1321)

男女共同参画センターでは

○女性のための相談窓口を開設しています
DV・ストーカー・家族の問題等ご相談ください。
相談専用電話
029-274-3002
月~金曜日 9時~16時(祝日を除く)

○セミナー・研修会を開催します

身近な問題から男女共同参画を考え、男女共同参画を推進するための講座を開催しています。セミナー開催については市報やホームページでお知らせします。

○皆さんの市民活動を応援します

男女共同参画の推進に関する活動をする市民の団体・グループを支援します。
センターの研修室を無料でお貸します。

○情報の収集・提供をします

男女共同参画に関する図書・情報誌の閲覧ができます。貸し出しも行っています。



～センター利用団体を紹介します～

「ハーモニーひたちなか」

平成11年、19団体が連携し、共に男女共同参画のまち「ひたちなか」をめざすことを目的に設立された、各種市民団体のネットワークです。主な活動は研修会やフォーラムの開催、年2回の広報紙の発行、また、男女共同参画フェスタへの参加などです。

センターを拠点として、子育て支援から高齢者の問題、まちづくりなど様々な視点で男女共同参画を捉え、活発に活動しています。ハーモニーひたちなかでは一緒に活動する団体を募集しています。興味のある方、団体はセンターまでお問合せください。

男女共同参画センター

〒312-0018 ひたちなか市 笹野町2-8-2
TEL・FAX 029-354-0167
Eメール: danjo282@juno.ocn.ne.jp

女性・国際課では

「ひたちなか市男女共同参画推進条例」「ひたちなか市男女共同参画計画」に基づき、男女共同参画社会の実現を目指して、さまざまな施策を行なっています。

- ・各種研修会の開催
- ・広報、啓発事業
- ・男女共同参画計画の進捗状況の把握
- ・男女共同参画センターの管理、運営
- ・『女性情報バンク』の設置

審議会、委員会等への女性の積極的登用を図ることを目的として設置しています。満20歳以上の市内在住、在勤の女性で市政や地域の発展に貢献できる方、社会活動を行なっている方、登録してみませんか。詳しくは市女性・国際課女性政策係までお問合せください。

★「かがやく第2号」を発行するにあたり市民編集委員として佐藤さん、吉沢さん、堀内さんにご協力いただきました。「男女共同参画は私たちの身近な問題です。自分らしく生きることのできる大きさをこれからも皆さんにお伝えしていきたいと思います。(女性・国際課)

★「かがやく第2号」を発行するにあたり市民編集委員として佐藤さん、吉沢さん、堀内さんにご協力いただきました。物をしてお父さん達は、普段なかなか家事参加をしている人が多かったが、12月に家族と一緒に買い物をしてお父さん達は、普段なかなか家事参加をしている人が多かったが、12月に家族と一緒に買いました。今回も立場も全然ちがう方々と一緒で、とても楽しい良い経験ができました。ありがとうございました。(Y)

お父さん達のホンネは…！？ ~アンケートから見えてきたこと~

☆アンケート結果の考察

20代から40代では、家事参加に積極的な様子がうかがえます。ただ、平日には時間が多く、「家事分担の大切さを解ってはいるが、実際にはできない」というのがホンネのようです。年配の方もいろいろな家事をこなしているようですが、家計管理だけは非常に少なく妻がしっかり家計を管理しているのがわかります。お父さん達が積極的に家事分担できる時間の確保が、最大の焦点のようです。

「男女共同参画」について次のようなご意見もいただきました。

- ・あたりまえのことなのでわざわざ言わなくてもいい社会になればいい。
- ・もっと国民全体で取り組むべき問題だ。
- ・女性がもっと働きやすい環境づくりが必要。
- ・家庭内では理解できるが、社会的にはまだよくわからない。
- ・男も女もなく出来る事をやるのがいいと思う。
- ・システム上ではそうなっているが、実際にはそうなっていない。
- ・時代が変わったから男女平等。昔とは違う。
- ・PRがたりない。積極的にやってほしい。

今回のアンケートは平成16年12月5日（日）市内量販店において実施しました。回答者は20代～70代の男性（内訳 20代：18人、30代：30人、40代：19人、50代：16人、60代：18人、70代：5人）計106人です。ご協力いただいた市民の皆様及び関係機関の皆様に感謝申し上げます。

12月5日（日）大島コミュニティセンターにて、お父さんとクリスマスの料理を作ろうと男女共生セミナーに笑顔で集まつた。学生の一人暮らし以来包丁を持つことがないというお父さんや、アウトドアで料理に慣れたお父さんなど、参加してくださつた方々は様々でしたが、親子で協力しながらミートローフとえび春巻きを作りました。

ネモトクッキングスクールのハ木沼やよい先生から、手順やポイントなどを教えていただき、子ども達は、エプロン姿のお父さんと、楽しく調理に取り組みました。玉ねぎを刻んだり、春巻きを巻いたり、「お料理って楽しいね」との子ども達の笑顔にお父さん



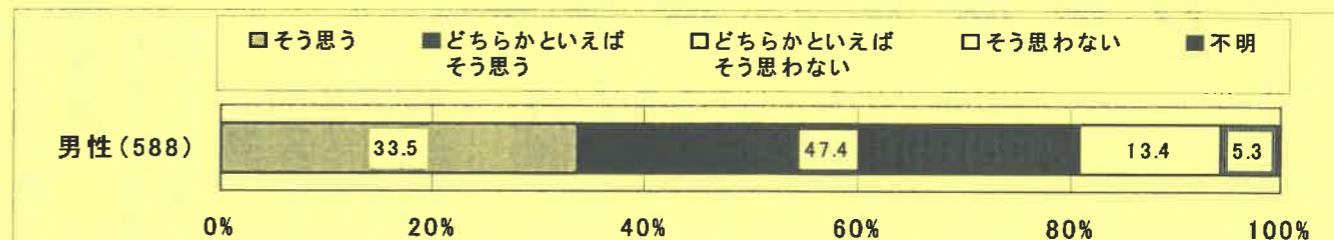
父子で作る料理教室

方も満足そう。
きっと、お家に帰つてからお母さんにも作つてあげた事でしょう。

「男女共同参画」という言葉を最近はよく耳にするようになりましたが、男女が共に自立し対等な立場で社会を築いていくためには、まだまだ様々な問題があるといえます。さて、今回はお父さん達の家事参加についてアンケートをとってみました。

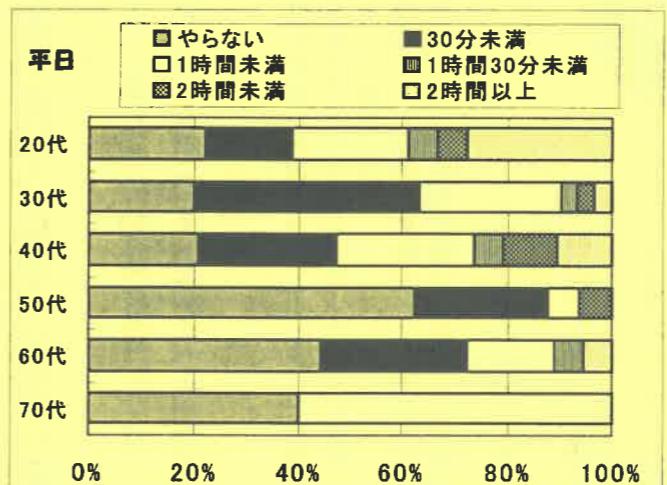
平成14年に実施した市民意識調査では、「男性も積極的に家事や育児を分担すべき」という考え方に対して下記のグラフのような結果が出ています。

「どちらかといえばそう思う」を含むと8割の男性が分担すべきと考えています。

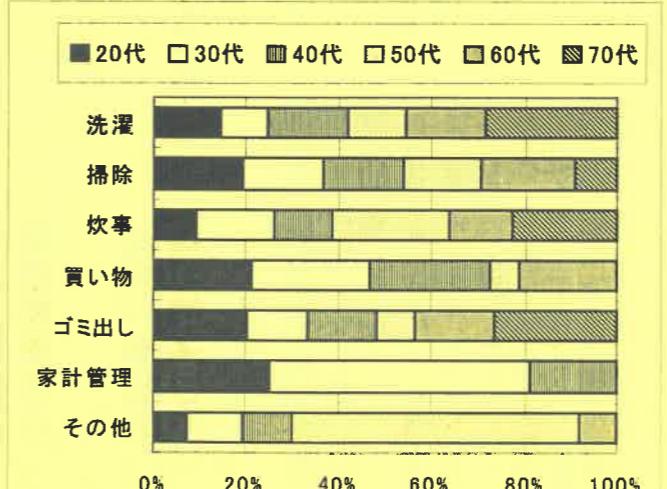


では、実際の家事・育児時間はどのようにになっているのでしょうか。

Q あなたは一日どれくらい家事・育児に参加していますか？



Q どのような家事をしていますか？



Q どのような育児をしていますか？

*年配の方にはかつてどうだったかをお答えいただきました。

